

令和2年度の学校評価

本年度の 重点目標	1 授業規律と学習習慣を確立するとともに、自主性の向上を図る。 2 道徳性と社会性を育成し、人権尊重意識・情報モラル・規範意識の向上を図る。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	広報活動	ホームページの有効活用、中学生への本校を知る機会を増やす。	PTA 活動や総務関連行事をホームページに公開する。体験入学以外に学校説明会を行い、中学生だけでなく、保護者や中学校教員にも本校の実情を伝える機会を増やす。
	防災活動	津波避難訓練、三校合同津波避難訓練の実施	地震や災害における避難対策を生徒に理解させる。
教務部	基礎学力の向上	・魅力ある授業実践 ・評価方法の研究	・基礎基本の充実を図るとともにアクティブラーニングや ICT を取り入れるなどして、生徒が主体的に取り組み深い学びにつながる授業展開を目指す。 ・各種研究活動内容を共有する。
生徒指導部	ネットトラブルの防止	・情報モラル講話の開催 ・ネットパトロールの活用 ・「心のアンケート」の見直し・検討	・いじめの早期発見と迅速な対応を心掛ける。 ・家庭との連携を密にし、必要に応じて外部機関の協力を得て、組織的に取り組む。
	登下校のマナー向上	・交通安全講話の開催 ・地域からの意見の周知徹底 ・校外指導	・危険な行為や迷惑行為を自覚させる。 ・通学マナーを伝えるとともに、それを守ることの必要性を繰り返し説く。
進路指導部	進学指導、就職指導の充実	・主体的な学習習慣の確立を促す ・入試研究 ・企業研究	・学習の PDCA を習慣付ける指導を働きかける。 ・大学入試共通テストと私立大学入試を研究し、進路指導に役立てる。 ・地元の企業を広く紹介し、企業研究を推進する。
保健部	生徒の健康増進	健康観察や自己管理能力の向上	健康観察、個別の指導計画、保健室来室、スクールカウンセラー相談者の状況を共有し、生徒指導に生かす。
	環境美化・安全の推進	・美化委員会の活動の活性化 ・安全点検の実施	美化委員による清掃点検を実施し、生徒の環境美化と安全に対する意識を高めていく。
生徒会部	部活動の活性化	・学年会、部活動顧問との連携 ・部活動における安全の確保	・1年学年団と部顧問との情報交換を密にする。 ・下校時刻、環境の整備など、安全面で配慮する。
	生徒会活動の充実	生徒会顧問教員、生徒会役員、常任委員会の、三者間の協力	委員会生徒の自主的な発案を促進できるような組織作り、雰囲気作りを支援する。
情報管理部	図書業務情報処理のマニュアル化	各種業務をマニュアル化し、業務の受け渡しが円滑になるようにする	担当者の交代時に業務が滞らないように、最低限のことをマニュアル化する。
3年	自覚と責任	最上級生としての自覚、身だしなみ指導の充実	身だしなみを整えることの大切さを伝え、社会規範意識の醸成に努める。保護者と連携をする。
	自主性と協調性	リーダーシップ、フォロワーシップの育成	最上級生としてリーダーシップをとれるようにする。仲間との連携がとれるよう、指導する。
	進路目標の実現	進路実現の支援	それぞれの進路実現ができるよう、生徒の意識を高め、将来に対する努力を促し、支援する。
2年	自覚と責任	集団の中での役割の自覚、身だしなみ指導の充実	全教員で連携して、生徒への声かけを積極的に行い、正しい身だしなみで過ごすよう指導する。
	学力の向上	授業の充実、各生徒の習熟度に応じた学習指導	授業を大切にする姿勢を養う。各生徒の学力に応じた学習指導を、各教科と連携して継続的に行う。
	進路目標の設定	L T や K T、個人面談の充実、進路指導部との連携	具体的な進路目標の設定に向け L T や K T の内容を工夫する。また、面談で進路意識を高めさせる。
1年	生活や行動の自立	基本的な生活習慣の確立、積極的な挨拶の励行、課外活動の推奨	繰り返し声かけをし、遅刻防止、正しい身なりを促す。挨拶をしやすい雰囲気を作る。課外活動への積極的な参加を促す。
	基礎学力の向上	基礎基本の定着、授業規律の向上、家庭学習習慣の定着	基礎内容の定着を図る。授業に集中できる雰囲気作り、環境整備を心がける。課題提出を徹底する。
	進路研究	多様な進路研究と職業観の育成、類型・コースの選択	L T や K T、個人面談を通して、自己省察、自己把握を啓発し、進路適性を考えさせる。
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
生活文化科	生活文化科の活性化	行事や活動の活性化と広報活動の充実	多様な行事の充実と広報活動を行う。
	教科指導の充実	外部講師の導入による教員の指導力向上と教科指導充実	生徒が主体的に取り組める授業展開を工夫する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律と学習習慣の確立、基礎的・基本的な知識と技術の習得 ・地域への貢献と地域への情報発信 ・職員の働き方改革の進展 		